

—スタッフ紹介—

役 職	スタッフ名
診療局長兼外科統括部長兼消化器外科部長 兼がん治療センター長兼医療安全管理室長 兼臨床研修センター副センター長	種村 匡弘
医療マネジメント課長兼医療相談室長	平松 昌典
看護局 外来	飛野 悦子
医療マネジメント課 相談支援室	下村 恭子

—概要—

当部門は、患者、家族の疾病及び治療方針に関する不安や悩みを受けつける相談窓口であり、具体的に以下の役割を担っている。

**がん相談支援センター**

大阪府指定のがん診療拠点病院の「がん相談支援センター」の役割を担い、がん関連の様々な不安、悩み、心配ごとの解決や支援を行う。

**相談支援室**

がん以外の疾患に伴う相談は「相談支援室」で対応しており、不安や悩みの相談を受けている。

上記は、当院の患者、家族だけでなく、他院の患者や地域住民など誰でも利用できる。看護師とMSWが直接面談や電話で対応している。予約は不要であり無料で利用できる。

2021年度の延べ相談件数は1,132件(図1)で、前年度より53件増加した。相談の69%が当院患者で、31%が他院患者、地域住民であった。疾患別ではがん関連が70%、がん以外の疾患は30%(図2)で、がんの臓器別では乳房、部位不明、血液・リンパの順に多かった(図3)。相談内容は2,796件(図4)で相談件数(図1)の2.5倍であることから、現行治療と並行して複合的な悩みを抱えている患者が多いことが分かる。

相談員は患者、家族の不安や悩みを受け止め、問題整理をし適切な情報提供、支援を心掛けている。治療方針などに悩む場合は認定看護師によるインフォームドコンセントの同席や看護外来、更にはがんの身体的、精神的苦痛を和らげる緩和ケアチームや心療内科、精神科と連携して対応している。

また、対外的には大阪府や泉州のがん相談支援部会で課題や対応について協議し、国立がん研究センターの「認定がん専門相談員」研修に参加して最新の知識を得ている。

—実績—

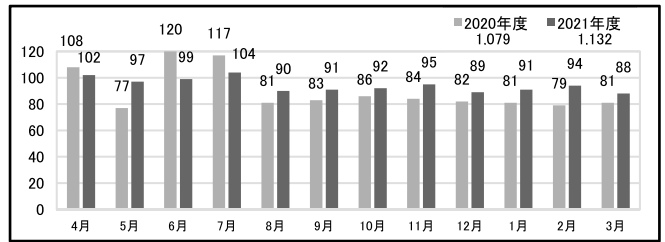


図1：延べ相談件数

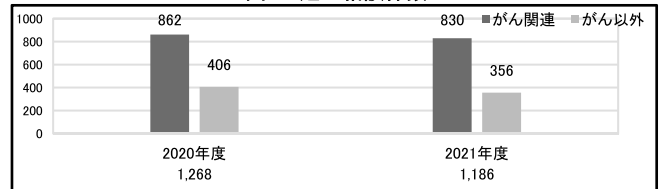


図2：疾患（1件の相談について複数選択）

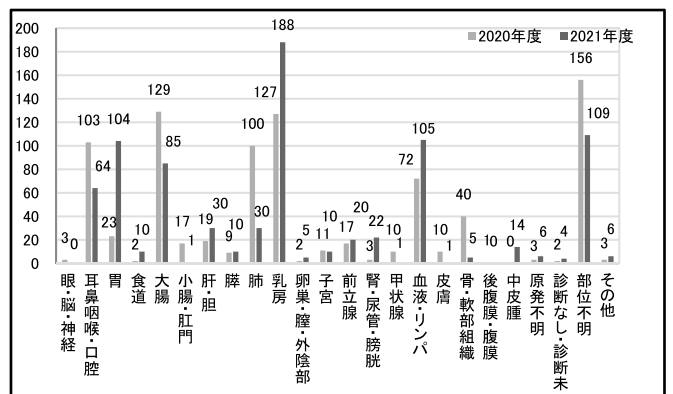


図3：がんの臓器（1件の相談について複数選択）

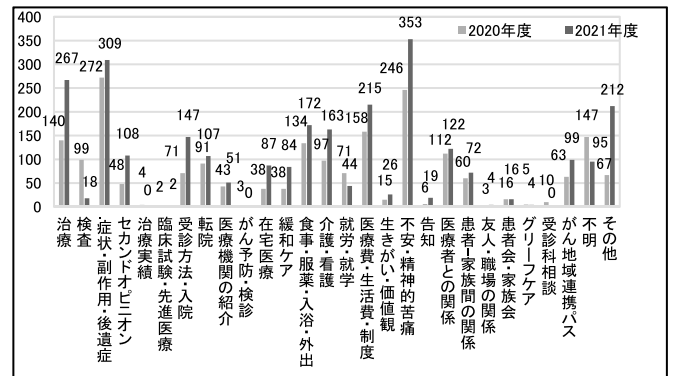


図4：相談内容（1件の相談について複数選択）

- 「がん患者サロンin泉州」 オンライン開催 2021.7.30
- 研修・国立がん研究センター「認定がん専門相談員」
- ・令和3年度「両立支援コーディネーター基礎研修」

—今年度の支援状況と今後の新しい取り組み—

今年度は、新型コロナ禍で行動制限がある中で患者支援の充実を検討し、泉州二次医療圏のがん相談支援センターが合同で「オンラインがん患者サロン」を開催した。患者同士が直接話ができ貴重な機会だったとの意見をいただき成果を実感した。次年度は対面及びオンライン併用のハイブリット型がん患者サロン開催も検討したい。また、妊孕性温存治療、両立支援コーディネーター研修などを活かしAYA世代支援、就労支援にも取り組みを広げていきたい。